Information

インフォメーション

検査№2025－11
２０２５年１１月

新規受託項目のお知らせ

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび下記検査項目の受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

新 規 受 託 項 目

●イオン化カルシウム　　項目コード：7539
（グループコード：5123）

受 託 開 始 日

2025年12月1日（月）より新規受託開始
※詳細につきましては、裏面をご参照ください。

保健科学グループ

保健科学研究所　〒240-0005　神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106　TEL. 045-333-1661
保健科学東日本　〒365-8585　埼玉県鴻巣市天神3-673　TEL. 048-543-4000
保健科学西日本　〒612-8486　京都府京都市伏見区羽束師古川町328　TEL. 075-933-6060

新 規 受 託 内 容

項目コード	検査項目（グループコード）	検査必要量（mL）	容器保存方法	検査方法	基準値・単位	所要日数	実施料判断料	備考
7539	イオン化カルシウム（5123）	血清 0.9	A1 ⬇ G-1 凍結	イオン電極法	2.25 ～ 2.50 mEq/L	4～5 日	26 生化 I	*E

最終委託先：ビー・エム・エル（*E）

▼ご依頼時の注意点

A1容器5 mL真空採血後、ゴム栓の上から注射針をさして流動パラフィンを1 mL注入してください。

室内に30分放置後、血清分離を行い、血清と流動パラフィンを10 mLチューブ（G-1）に移し凍結してください。

（採血後、流動パラフィンによる封入処理を行わないと、pHがアルカリ側に傾きイオン化カルシウム値が減少するため流動パラフィンによる前処理を行ってください。）

▼臨床的意義

血清中カルシウム（Ca）の約50%はイオン型カルシウム（Ca^{2+}）であり、残りは蛋白（アルブミン）結合型、非解離塩型となって存在しています。臨床的にはCa^{2+}の測定がより重要ですが、一般的には総Caとして測定しています。実際Ca^{2+}の異常と、総Caの異常は平行しますが、たとえばネフローゼでは総Ca減少、Ca^{2+}正常～軽度減少といった不一致を生ずる場合があるので、Ca^{2+}の測定は重要です。